さらに大きな仕事へと ステップアップするために 目下の目標は1級建築士の取得です

㈱松田組（西宮市）清水 冴香さん

小さい頃からものづくりが好きだった清水冴香さんは、滋賀県から西宮市にある短大のインテリアコースに進学、さらに「箱から携わりたい」と設計を学ぶために大学の建築デザインコースへ編入しました。在学中に設計も施工も手掛ける建築事務所でのアルバイトで造る楽しさに目覚め、施工者の道に進むことを決意します。

平成26年、大学卒業と同時に地元西宮に根付いた事業を展開している㈱松田組に入社、以来、建築部の一員として建設現場の施工管理を担当。最初に配属された市営住宅の新築工事では、施工状況などの撮影や測量のために現場を駆け回る日々を送りました。「つらいと思うことはあまりなかったですね。見たくても見ることができなかった仮囲いの中に居るのがすごく楽しくて。毎日、あっという間でした」と笑顔で振り返ります。

６年目を迎えた現在までずっと、現場では紅一点の存在。「入社当初は職人さんが全然しゃべってくれませんでしたが、『自分からなじんでいかないと』と、積極的に話し掛けるようにしました」。今ではすっかり現場に溶け込み、対話を重視しながらみんなが仕事しやすい環境づくりに心を砕いているといいます。

「規模の大きな仕事も扱えるようになりたい」と、現在は１級建築士の取得に向け、平日は仕事を終えた後に１、２時間、休日は資格学校で朝から晩まで勉強中。「現場をさらにうまく回せるように知識を身に付けて、自分自身を向上させたいです」と意欲を見せています。

西宮養護学校の鳥瞰パース

OFF TIME
オフタイムの楽しみ

数カ月前に結婚したばかりで、旦那さんとくつろぐ時間が最近の一番の楽しみです。同業なので休みが合うことは少ないのですが、たまに一緒になったときには梅田や三宮をぶらぶらと買い物し、夕方からは自宅のリビングで映画を見るなどゆっくりと過ごしています。

PICK UP! Engineer 期待の技術者

建設業界で活躍する
若手従業員を紹介します。

清水さんのキャリアの歩み

■入社1年目
撮影係などを担当しながら
現場で基礎を学ぶ

■入社2年目
２級建築士を取得

■入社3年目
小学校の改修工事で初めて
現場代理人を務める

■入社5年目
夏休み期間中の小学校改修工事の
成績評定で高得点を獲得。
社内の安全大会で表彰を受ける

■現在
市立西宮養護学校の校舎改築工事に
技術係員として携わる

一般社団法人 兵庫県建設業協会 〒651-2277 神戸市西区美賀多台1-1-2 TEL.078-997-2300 FAX.078-997-2307 https://hyokenkyo.or.jp/
TRIANGLE No.266 2019-2020 Autumn-Winter（年2回発行）

General Contractors Association of HYOGO

TRIANGLE

No.266
2019-2020 Autumn-Winter

建設業界の魅力発信―［トライアングル］

特集 ICTがもたらす 建設業界の生産性向上

2020年 年頭のあいさつ

2020 New year greetings

令和2年 年頭所感

一般社団法人兵庫県建設業協会 会長

川嶋 実

令和の時代初の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

また、平素は、当協会の事業活動に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、天皇陛下のご即位に国民一同喜びに浸り、ラグビーワールドカップで日本代表の大活躍に国中が感動に包まれる中、当協会においては、前身の「兵庫県土木建築請負業組合」の創立から数えて100年の節目を迎えた記念すべき年でありました。

その歴史において、先人から脈々と受け継がれた信頼と実績を守り続けることができたのは、ひとえに関係者の皆様方のおかげによるものと深く感謝する次第です。

あわせて、100周年記念式典を関係各位の多大なるご協力により、盛会裏に開催できたことに心よりお礼申し上げます。これを機に、これからの100年に向け協会の更なる発展へ決意を新たにしたところです。

その一方で、台風第15・19号による被災など、自然災害に脆弱な我が国の現状を認識させられた年でもありました。近年の頻発化・激甚化する自然災害を背景に、災害発生時の応急・復旧や災害に備えたインフラの維持・更新等で地域の建設業が担う社会的役割は益々重要になってきています。

しかしながら、地域建設業を取り巻く環境は依然として厳しく、国の「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」によって、当面は、一定程度の事業費が確保されているものの、事業量の大都市と地方との地域間格差や企業間格差は、依然として顕在化・拡大化しています。

そのような中、国の動きとしては、昨年6月、いわゆる「新・担い手三法」が成立したことに伴い、品確法基本方針及び入契法適正化指針の一部変更に続き、品確法運用指針が改正され、今年4月から運用開始の見込みです。

さらに本年は、阪神・淡路大震災から25年の節目に当たり、大災害に備える地域の守り手として、我々建設業も改めて社会貢献の意識を高めるとともに、夏の東京オリンピックを皮切りに、2021年のワールドマスターズゲームズ、2025年の大阪・関西万博へとつながるビッグイベントを契機とした社会の活性化に大いに期待するところです。

今年の干支「子年」は、どんどん増えていく鼠のイメージから、繁栄の年と言われています。当協会としても、時代の変化に対応しつつ、地域建設業が健全で安定した経営基盤を構築できるよう、担い手の確保・育成に向け、長時間労働の是正や週休2日の確保等の働き方改革の促進による若者にとって魅力ある業界づくりやi-Constructionの推進による生産性の向上に積極的に取り組み、建設業の一層の繁栄のため努力してまいります。

皆様方のご健勝とご発展を祈念いたしますとともに、変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

2020 New year greetings

令和2年 年頭所感

一般社団法人全国建設業協会 会長

近藤 晴貞

令和の御世になり初めての新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

昨年は、担い手確保・育成に向け労働環境の改善や生産性向上などを一層推し進めるための所謂「新・担い手三法」が成立しました。さらに働き方改革関連法の施行や建設キャリアアップシステムの本格運用開始など、建設業が魅力ある産業として輝くための環境整備が多く図られ、建設業界にとって大きな転換点となる一年でございました。

今年はいよいよ「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を迎えます。前回のリオデジャネイロ大会での、日本の活躍は記憶に新しいところですが、それを超える躍進への期待や、世界中から集結するトップアスリートたちが生み出す熱狂と感動の日々に向け、着実にその気運は高まりを見せております。

国内外から訪れる多くの皆さんを安全・安心にお迎えし、快適に過ごしていただけるよう、我々建設業界も開催国の一員として、「おもてなしの心」で大会の成功に貢献していきたいと思います。

一方、地域建設業は、社会資本整備や維持管理の担い手であるとともに、災害現場の最前線で活動するなど、地域社会の安全・安心を守る「地域の守り手」としての社会的使命を担っています。

昨年は山形県沖地震や九州北部での豪雨、さらには台風15号及び19号等による風水害等、全国各地で自然災害が猛威をふるい、各地に甚大な被害をもたらしました。これらの災害は、改めて我が国の防災・減災、国土強靭化に向けた対策が喫緊の課題であることを痛感させられ、さらなる強靭な国土づくりを着実に推進していき、「地域の守り手」としての使命をさらに果たしていかなければならないとの決意を新たにしたところでございます。

地域建設業がこれからもその使命を果たしていくためには、働き方改革などの新たな課題への対応や、地域間格差や大企業と中小企業との企業間格差等の依然として厳しい経営環境を乗り越え、また働き方改革などの新たな課題にも的確に対応していかなければなりません。

全建は47都道府県建設業協会と一体となり、新たな時代においても、引き続き地域建設業の課題に向き合い、積極果敢に取り組んでいく所存でありますので、ご理解とご支援のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和新時代 復興の、その先へ

兵庫県知事
井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

阪神・淡路大震災から間もなく25年を迎えます。この間、国内外の人々が驚くほどの創造的復興をなしとげました。しかし、危機に陥った財政の建て直しに取り組まざるを得ないなど、苦難の連続でした。令和の時代の到来とともに、新たなステージへのスタートを切る環境が整いました。

25年の節目を機に改めて原点に立ち返り、震災の経験や教訓を忘れず、伝え、これを活かし、しっかりと備えていきます。

この安全安心の基盤の上に、2030年の展望の具体化を図り、すこやか兵庫づくりに取り組み、未来へのシナリオをしっかりと進めていきます。

第1は、安全安心な兵庫の構築。南海トラフ地震や風水害へ備え、安全な県土を築きます。2025年問題に対応するための在宅医療・介護体制の充実や地域医療の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。

第2は、地域の元気づくり。人口流出に歯止めをかけ、社会減を解消し、自然減を縮小する人口対策に取り組みます。次世代産業の創出を支援し、起業しやすい環境を整えます。農林水産業の基幹産業化も推進し、活力ある兵庫をつくります。

第3は、交流・環流の促進。五国の魅力を活かし、観光交流、スポーツツーリズムを推進し、交通インフラの整備を加速させます。三宮再整備や県庁舎の建替などまちの再生を急ぎます。

私たち兵庫は、震災という誰も経験したことのない試練を一丸となって乗り越えてきました。復興のその先の新たなステージでも、課題に対して果敢に挑み、ともに手を携え、すこやかな兵庫の実現をめざしましょう。

平成から令和へ　新たな時代に
　　すこやか兵庫を　めざし歩まん

年頭挨拶

神戸市長
久元喜造

新しい年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

今年は、あの阪神・淡路大震災から25年という節目の年を迎えます。振り返れば「平成」は災害の多い時代でした。時代が変わっても、私たちは、震災から得た経験や教訓を風化させず、次の世代に引き継いでいかなければなりません。また、国の内外から寄せられたご支援によって、復興を遂げることができたということを、私たちは決して忘れてはなりません。地震や台風などの激甚化する自然災害により被災された地域に対し、神戸は、しっかりと支援を行ってまいります。

昨年５月１日に「令和」の時代が始まりました。新しい時代の到来を機に、神戸が新たな時代にふさわしいまちとして、人間が大切にされる「人間スケール」のまちとなるよう、都市の魅力を磨き、ブランド力を一層高めていくことが重要です。

震災から四半世紀、この間、復興や財政再建を優先せざるを得なかったために手をつけられなかった公共空間やまちの佇まいをリノベーションし、まちの質・くらしの質を向上させ、見ちがえるような神戸の街を、市民のみなさんの参画を得て、つくりあげていきます。

これまで先人が築き上げてきた神戸の歴史や伝統に敬意を払いつつ、未来を見据え、グローバルな見地から、各分野において貢献できる神戸市をつくっていけるよう全力を尽くします。

今後も神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

新年のご挨拶

建設業労働災害防止協会 会長
錢高 一善

令和2年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員並びに関係各位におかれましては、当協会の業務運営につきまして、平素から特段のご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、建設業における労働災害による死亡者は、会員をはじめ関係各位の熱意と長年に渡る不断の努力により減少傾向にあるものの、平成29年は323人、平成30年は309人と連続して300人を超える状況となり、労働災害防止活動の一層の推進が必要となっております。

建設業は、地域の生活基盤であるインフラ整備に携わり、さらに頻発する自然災害からの復旧・復興工事、国土強靱化に向けた継続的な防災・減災関連工事等にも携わっております。

これらの高水準の工事量に加え、現場管理者及び技能労働者の不足、建設労働者の高齢化の進展、さらに外国人労働者の受入拡大により、労働災害発生の可能性はますます高まっております。

また、官民挙げての「働き方改革」が推進される中で、建設業は時間外労働の上限規制の適用が猶予されているものの、業界では積極的な週休二日制の導入等、職場環境の改善を進めることが求められています。

当協会では、引き続き各種労働災害防止活動を推進すると共に、建設業の労働災害で大きな割合を占める墜落・転落災害防止対策の推進を重要な課題と捉え、「第8次建設業労働災害防止5カ年計画」期間の5年間を通じて、8月から9月上旬にかけて「墜落・転落災害撲滅キャンペーン」として各種事業を展開しております。

この他、建設業の安全衛生活動を取り巻く状況の変化に対応すること及び国際基準の動向との整合性を図った「ニューコスモス」の普及と中小規模建設事業者向けの「コンパクトコスモス」の展開を図って参ります。

また、建災防が開発した「健康ＫＹと無記名ストレスチェック」を活用した、建設現場におけるストレス状況の把握及び職場環境改善の推進、そして、その延長線上にあるヒヤリハットに基づく、新たな安全対策手法の導入についても検討を行っております。

このような対策を進める基本姿勢としては、PDCAの発想の下で、工事量の増減に関わりなく、労働災害の発生率の減少を目指して粛々と努力すること、つまり、日々の安全衛生活動の中で、個々の建設現場における危険源を特定し、その排除を繰り返し行うことだと考えておりますので、その徹底をお願いします。

さて、本年の第57回全国建設業労働災害防止大会は、9月24日(木)、25日(金)の両日、宮城県仙台市のカメイアリーナ仙台(仙台市体育館)他で開催いたします。最新の安全衛生情報、会員企業が取り組まれた効果的な安全衛生管理活動の発表、東日本大震災等自然災害の復旧・復興工事から学ぶ今後の安全衛生対策等を盛り込んでいくこととしておりますので、関係各位のご参加について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

最後に、建設業における労働災害防止の主役は、事業者と建設現場で働く方です。「富よりも健康」という想いを念頭に、建設業で働く方々が不幸な災害に遭わないようにすることが何よりも重要だと考えております。

今年も、会員各位の益々のご健勝とご発展を衷心よりお祈り申し上げます。

令和2年 新春挨拶

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 理事長
水野 正望

令和2年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、昨年も建設業退職金共済制度(建退共制度)の運営に多大なご支援、ご協力を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

建退共制度は、建設技能労働者など建設工事の第一線で働く労働者の皆様の福祉の増進と雇用の安定を図り、建設業を営む中小企業の福祉の振興を目的として中小企業退職金共済法に基づき、昭和39年10月に創設され本年で56年目を迎えます。お蔭様で、当退職金共済制度への加入契約者数は17万事業所、被共済者数は218万人を数え、これまで累計で247万人の退職者に対して1兆7千億円の退職金をお支払してまいりました。退職金を受取られた皆様、事業主の皆様からは退職金があって本当に良かったという声を頂いており、建退共は現場で働く方々にとって重要な制度になっております。

近年、異常気象により災害が頻発、激甚化し、各地で甚大な被害が発生しています。さらに、これまで整備されてきた社会インフラの老朽化により、様々な問題が各地で顕在化しており、暮らしを守り支えるインフラの計画的な維持・更新整備が重要となっております。

また、一方、このような課題への対応の中心となる建設業においては、担い手の確保・育成が喫緊の課題となっております。今後も、建設業が地域経済の中核を担う魅力ある産業として発展していくためには、長時間労働の是正、技能・経験にふさわしい処遇、社会保険加入の徹底等の働き方改革を推進することで、建設労働者の雇用の安定と福祉の充実など労働環境を整備していくことが不可欠であると考えております。

昨年は、通常国会において、現行の証紙貼付方式に加えて、電子申請方式の導入を可能とする内容の中小企業退職金共済法の改正案が、可決、成立しました。電子申請方式は、本年10月から試行的に実施した上で、令和3年3月末までに全面的・本格的に実施すべく、着実に準備を進めさせていただいております。電子申請方式は、事業主の皆様の事務の合理化につながるだけでなく、労働者の皆様が確実に退職金を受け取っていただくための有効な手段と考えております。

本年も、建退共制度の安定的で効率的な運営に努め、確実な退職金の支給に一層努力して参る所存でございますので、建退共制度への加入と証紙の適正な貼付につきまして、更なるご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご隆昌を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

2020年 年頭のご挨拶

公益財団法人 建設業福祉共済団 理事長
茂木 繁

令和2年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、私どもが実施する建設共済保険制度が建設業界の自主的な共済制度として誕生してからお蔭をもちまして、今年11月に50年となる大きな節目を迎えることになりました。これもひとえに、ご契約者の皆さまと全国建設業協会並びに都道府県建設業協会の皆さま方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今年も中核の事業である「建設共済保険事業」や同事業により保険金の支払いを受けた被災者のご子息に対して奨学金を支給する「育英奨学事業」等の公益目的事業を着実に実施するとともに、平成27年に開始してから6年目を迎える都道府県建設業協会とのタイアップ広告による広報支援活動も引き続き展開し、担い手確保・育成に向けた建設業の魅力の発信と建設共済保険制度のPRを一層強化して参りたいと考えております。

平成28年度から開始した「労働安全衛生推進事業」では、とくに安全衛生用品の頒布の魅力を高めるべく、毎年の安全衛生用品の見直しに加えて同用品群の中から選択いただける対象層を広げるなど拡充を図って参りましたが、令和2年度からは、安全衛生用品のカタログから自由に選択いただける新たな仕組みを導入致します。今後とも、ご契約者の皆さまの安全衛生対策に少しでもお役立てできれば幸いと考えております。加えて、女性の就労環境向上のため建設工事現場に「女性専用トイレ」を導入する場合には10万円を上限とする助成を行っておりますが、令和2年度以降は「女性専用更衣室」の設置まで対象範囲を拡げて参ります。さらに、建設業における災害防止の観点で実施している労働安全衛生推進者表彰は、令和元年度も210余名の方々を表彰し、そのうち170名超の方を当団ホームページ上で「安全の守り手」として永く顕彰させていただくことを予定しているほか、地域に開かれた教育訓練施設等の整備助成として全国で14ヶ所、全国建設業協会との共催で開催している労働安全衛生講習会も全国で15ヶ所に対する支援を行っているところです。

当団は、本年も全国建設業協会及び都道府県建設業協会並びに建設関係団体との連携を一層密にし、直面する諸課題に適時適切に対処して建設共済保険制度の安定的運営に配意するとともに、昨年9月に策定し以後毎年改定を行う協会毎の「加入促進戦略」に基づき、建設共済保険制度の普及推進活動を積極的に展開して、企業規模を問わずご加入いただく方の裾野を拡げながら、公益目的事業として実施している育英奨学事業、労働安全衛生推進事業、一般助成事業等の各種事業を通じて、建設業界の発展と建設労働者の福祉の増進に向けた事業の拡充に役職員一同努めて参りますので、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様方の益々のご隆昌とご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。

年頭所感

一般財団法人 建設業振興基金 理事長
佐々木 基

明けましておめでとうございます。

令和としてはじめての新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、台風15号、19号等の強い台風が頻繁に日本列島を縦断し、暴風・大雨により多くの河川の氾濫や住宅の損傷等、日本各地に甚大な被害がもたらされました。被災されたすべての皆様に対しましてお見舞い申し上げますとともに、一刻も早く平穏な日々を取り戻されますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、これらの災害の復旧・復興、さらには防災・減災、国土強靱化等への対応と地域の守り手である建設産業が担う役割は益々広範囲かつ重要なものとなっております。一方、今後さらに生産年齢人口が減少していく時代において、引き続き、建設産業が国民からの付託に応え続けていくためには、次世代に繋ぐための改革が喫緊の課題となっております。このような中で、国は昨年6月「品確法」、「建設業法」、「入契法」を新・担い手3法として一体的に改正しました。長時間労働の是正、週休二日制度の導入等、働き方改革への対応と生産性向上、賃金の引き上げ等を産官が一体となって実現し、魅力ある産業に転換させていこうとする決意が改めて示されたところであります。

本財団におきましては、昨年4月より建設キャリアアップシステムを本格稼働しました。建設技能労働者の保有資格・就労履歴等の情報を蓄積、見える化していくことにより、技能と経験に見合った処遇が受けられる一連の仕組みを業界全体で構築しようとするものであります。他産業に先駆けたこの仕組みが業界標準となる日まで邁進して参りますので、改めてご協力をお願いいたします。

今年度が最終年度となります建設産業担い手確保・育成コンソーシアム事業につきましては、これまでの成果等を踏まえ、地域において築かれた職業訓練の実施体制や今後の活動についても関係機関等との連携により支援して参ります。また、建設労働者緊急育成支援事業につきましても、国の次の施策に対応していけるよう業界団体、職業訓練機関等との協力関係を一層強化し、これに備えて参ります。

また、「一級施工管理技士補」や「監理技術者補佐」の制度化、「登録建設業経理士」制度をはじめとした継続学習の充実等、国のこれからの取り組みへの対応や建設産業の新たなニーズにも柔軟に対応していくため、今年度中に本財団の当面の重点施策を「中期経営方針（2020年～2022年）」としてとりまとめることとしております。これからも組織を挙げた連携のもと各種事業の実施に当たるとともに、産業と行政とを繋ぐ架け橋として建設産業の持続的な発展に貢献していく所存でございますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2020 New year greetings

令和2年 年頭挨拶

西日本建設業保証株式会社 取締役社長
小池 一郎

令和2年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年の建設業界を振り返りますと、全体として、政府建設投資・民間建設投資ともに堅調に推移しました。

公共事業関係予算は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」関連事業費が盛り込まれ、当初予算では前年度を大幅に上回る水準となるなど、一定の規模は確保されました。

しかしながら、都市部と地方部での事業量の地域間格差や企業間格差の問題は解消されたとは言えず、相次ぐ災害への対応や人手不足の深刻化などもあって、地域建設業においては依然として厳しい環境が続いております。

建設産業では、「災害時の緊急対応の充実強化」、「働き方改革への対応」、「生産性向上への取組」、「調査・設計の品質確保」を柱と位置づけた改正品確法をはじめとする新・担い手3法が成立したほか、建設キャリアアップシステムの本格運用開始、改正入管法（出入国管理及び難民認定法）による新たな在留資格制度の創設など、産業の根幹である人材の確保・育成にかかる取組が官民一体となって推し進められた年となりました。

一方で、8月の九州北部豪雨、千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風など、大規模な自然災害が各地で発生しました。10月の台風19号では、これまでの想定を超える記録的な豪雨により多数の河川堤防が決壊・越水するなど、気候変動による自然災害の激甚化・頻発化を踏まえた社会資本整備の重要性、緊急性が改めて認識された年でもありました。

これを受け、災害からの復旧・復興と安全・安心の確保を重要な柱とする経済対策が講じられようとしています。

そのような中で、「地域の守り手」として国民生活の安全・安心を守る最前線を担うとともに、地域社会・経済の重要な主体として地域に根ざす建設業が、将来にわたってその役割を果たしていくためにも、安定的かつ持続的な公共事業量が今後も確保され、官民の連携のもと、魅力ある産業として発展することを期待しております。

当社は、本年も「前払金保証」、「中間前払金保証」、「契約保証」、「契約保証予約（入札ボンド）」の各事業を通して、公共工事の適正な施工をサポートし、建設産業の発展に貢献してまいります。また、グループ会社である（株）建設総合サービス（KSS）では国土交通省の地域建設業経営強化融資制度に基づく「出来高融資事業」等により建設企業の資金繰りを支援するとともに、国土交通省が推進する i-Constructionのツールとなる受発注者間の情報共有システム「電納ASPer」を通して、生産性向上・業務効率化をサポートしてまいります。

これからも、お客様から「信頼され、期待に応える企業」を目指し、グループ一丸となって価値あるサービスを提供してまいる所存でございます。本年も変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸とご隆盛を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

特集

ICTがもたらす建設業界の生産性向上

建設業はこれまで、建設現場の宿命ともいえる「一品受注生産」「現地屋外生産」「労働集約型生産」などの特性により、製造業等で進められてきた「セル生産方式」や「自動化・ロボット化」などの生産性向上に向けた取り組みの導入が困難とされてきました。これらの宿命を打破するために国土交通省が中心となって進められている「i-Construction」は、ICT（情報通信技術）を導入することにより、製造業で行われているような生産性向上を実現する取り組みです。

今回は、兵庫県県土整備部武庫川総合治水室に、県発注としては初のICT土工の事例である武庫川遊水地整備工事を紹介していただきます。

武庫川遊水地整備の経緯

国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指すi-Constructionを進めています。

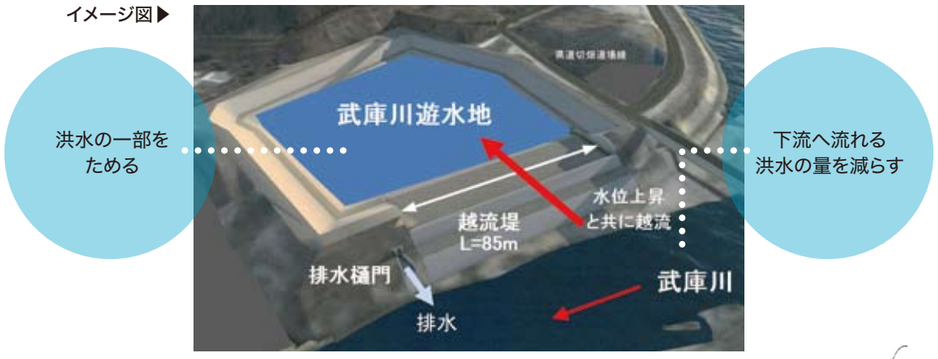
兵庫県では、国土交通省の取り組みに合わせ、平成28年度から各種規定・基準類の改定に着手し、29年度からICT活用工事に取り組んでいます。

具体的には、29年度に土砂掘削を半自動で施工できるICT建設機械の活用を必須とする「発注者指定型」を4件、受注者が活用を選択できる「受注者希望型」を5件試行しています。その一つ、武庫川遊水地整備工事は発注者指定型で、洪水が起きた際にいったん洪水の一部をためて下流に流れる水を減らすため、県武庫川上流浄化センターに隣接する敷地約2.3haに、容量約6万9, 700㎥、水深約7mの遊水地を設置する工事です。この遊水地により、武庫川における戦後最大規模の洪水である昭和36年6月27日洪水と同規模の洪水に対し、甲武橋基準点（西宮市）で最大20㎥/sのピーク流量カットをすることができます。

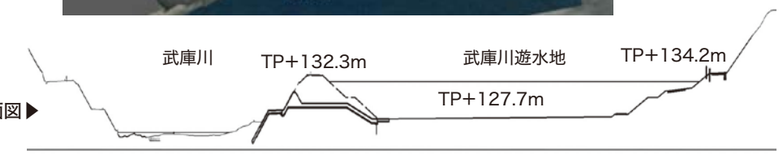
武庫川遊水地の概要

- 所在地……神戸市北区道場町生野
- 構造形式……コンクリート重力式越流堤
- 越流堤高/越流堤長……TP+132.3m／L=85m
- 貯水容量……6万9,700㎥
- 事業期間……平成23年4月～31年3月

イメージ図▶



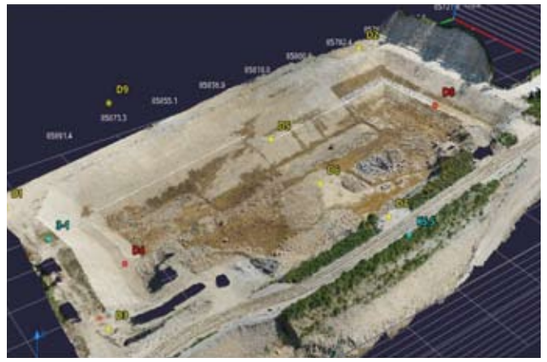
堤体断面図▶



活用したICTとその効果

施工は2工区に分割し、「その１工事」は土工約3万㎥、越流堤、樋門工事等（施工：金山建設工業㈱）、「その２工事」は土工約7万㎥、周囲堤の管理用通路工事、県道整備等（施工：関西建設工業㈱）としました。

平成29年7月から３次元測量による起工測量に着手し、その１工事は地上レーザースキャナ測量、その２工事はUAV（ドローン）による空中写真測量によりそれぞれ地形データを取得し、３次元設計モデルを作成しました。３次元測量は、対象物を座標を持った無数の点としてデータ化（点群データ）します。その上に3D CADの設計図面を重ねることにより、施工数量を算出することができます。

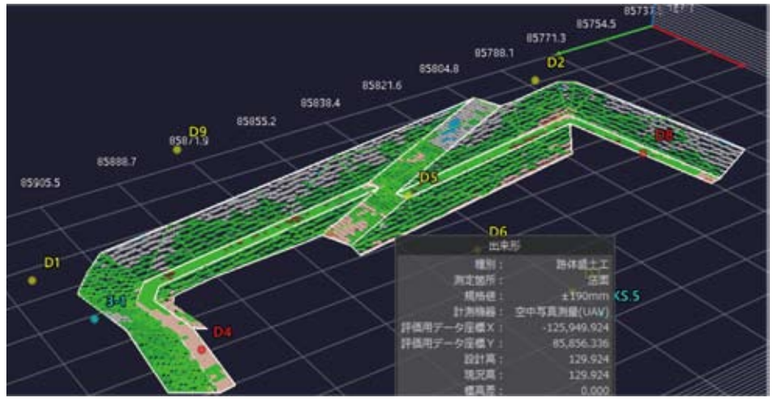


▲点群データ

▲地上レーザースキャナ測量

続いて30年7月から、ICT建機により丁張設置を省略したICT土工に着手しました。ICT建機には、２種類のタイプがあります。一つは、建機のバケットを座標制御し、あらかじめ入力した3D設計図面と照合しながら施工面より奥にはバケットが進まないタイプ（マシンコントロール）。もう一つは、運転席にバケットと３D設計図面を映し出すモニターを設置し、オペレーターがそれを見ながら作業するタイプ（マシンガイダンス）です。どちらも通常の建機にモニター等を取り付けてICT建機とすることもでき、経費節減や調達待ちの懸念が払拭（ふっしょく）できます。また、経験の浅いオペレーターであっても正確な掘削作業を可能にします。本工事では、マシンガイダンスのタイプで施工しました。

◀越流堤（3次元設計モデル（3D CAD））



◀出来高ヒートマップ

節目ごとの進捗管理も３次元測量で行い、精度管理や残施工量を把握します。丁張を張り直す手間はありません。また、バケット周りに補助作業員を置く必要がないため労働災害リスクの低減にもなります。

ICT施工は、出来形管理においても従来概念を大きく覆します。これまでの出来形管理は、測点断面ごとに精度管理をしてきました。一方、ICT施工では点群データによる面的管理を行います。設計面との施工誤差はヒートマップと呼ばれる色の階調で表現します。このため、測点ごと、変換点ごとの断面図を何枚もそろえる必要がなく、立体表現された１枚のヒートマップですみます。

従来工法との比較検証

その２工事の切土法面整形において、従来施工（丁張設置）とICT建機（バックホウ0.7㎥マシンガイダンス）による施工の作業日数と施工精度を比較検証しました。

■作業日数の短縮

試験施工面積を全体施工量の法面整形5,090㎡当たりに換算すると、従来施工の作業日数46日（丁張設置含む）に対して、ICT建機施工は29日となり、17日間、約３割の工期短縮が図られました。

■施工精度の向上

精度を出来高ヒートマップで比較した結果、熟練オペレーターが施工したこともあり、共に±20%を示す緑色箇所が大半を占めましたが、ICT施工の方がやや高い精度であることが確認されました。経験の浅いオペレーターが施工する場合はさらに差が顕著になることが推定されます。

県では、建設業における人手不足などの課題解消に向け、令和元年9月にICT活用工事の対象を従来の３工種（土工、舗装工、河川浚渫工）から新たに４工種〈地盤改良工、作業土工（床掘）、付帯構造物設置工、法面工〉を加えた７工種に拡大し、その全工事をICT活用工事として発注するなど、今後もICT施工を積極的に推進していきます。

ICT土工の施工者の声

武庫川遊水地整備「その2工事」担当者

関西建設工業㈱（神戸市）の
土木部次長の
中村公一さんに
感想を伺いました。

―今回の工事に当たり、特別に準備したことはありますか。
ICT建機については、弊社も作業をお願いした業者も初挑戦でした。従来の建機にモニターを取り付けたのですが、そのモニターなどはリースしたものですし、ドローンでの測量やデータの解析は外注したので、自社として機材面で準備したものは特にありません。私自身は以前からICTに関する外部の研修や講習を受けており、施工管理書類などは弊社が1年前に手掛けた国土交通省発注のICTを活用した砂防えん堤工事の担当者からアドバイスをもらいながら作成しました。

―実際の工事でICTの効果を感じた部分はどこですか。
大型のドローンでの測量は、通常なら木を切り倒し20m間隔で測量するという作業を繰り返して4、5日かかるところを、わずか30分飛行させるだけでデータを取得できるので、現場での作業時間が格段に違いました。ただ、ドローンの場合はそこからデータを編集して3D設計をする必要があり、実際かかった日数としては大差ありません。作業に慣れてくると、さらに短縮できると思います。また、従来の平面図と違ってパソコン上で立体画像をさまざまな角度から表示できるため一般の人も完成形がイメージしやすく、住民説明会などに役立ちそうですね。

―ICT建機を使った作業はどうでしたか。
真夏の暑い中、杭を打つのは大変なので、丁張を設置する必要がない点は現場としてはかなり助かりました。建機に乗る作業者もモニターを見ながら進められるため掘削範囲の確認のためにいちいち外に出る必要がなく、作業がストップしないので慣れてきたらとても便利だと言っていました。今回は初めての作業ということで、掘削を始める際に本当にそのポイントで合っているかどうかがかなり不安で確認に時間を要しましたが、それでも従来のやり方に比べ17日も短縮できました。こちらも扱いに慣れれば、さらなる縮減効果が出るのではないでしょうか。

大型ドローンによる測量

―作業で気を付けた点はありますか。
先行して行っていたえん堤工事の現場は六甲山の山中で電波が入らず、衛星から送られるデータで測位するGNSS（汎地球航法衛星システム）を使えなかったと聞いていたので、作業に入る前に現場の電波の状況を確認するようにしました。幸い、電波がしっかり入る場所で問題ありませんでしたが、GNSS基地局のバッテリー容量が4時間しか持たなかったため予備を用意して対応しました。

―今後も御社ではICTを活用する方針ですか。
近い将来、ICTが入札条件になる時代が来ます。その時に備え、費用面ではかなりの投資が必要ですが、少しずつ実績を重ねながら経験を蓄積していきたいと考えています。

建機に取り付けたモニター

「その1工事」担当者
金山建設工業㈱（尼崎市）
土木部作業所長
松浦 尚さん

初めてICT施工に取り組んで、特に印象に残ったのはオペレーターの意識の変化です。現場で長年経験のある熟練者で、作業当初はマシンガイダンス等の説明をしても戸惑いがあり煩わしそうにしていましたが、慣れてくると従来の丁張による掘削作業より正確に仕上がり、施工もしやすいと言っていました。また、出来形管理においても全施工範囲の設計値がモニターに表示されるので全面管理ができ、従来と比べ誤差が少なく高い精度で施工することができました。課題は、より多くの人にICT施工の有用性を伝えることにあると思います。今後もICT施工を積極的に活用し、安全・高品質を保ちながら技術者不足解消にも取り組みたいです。

令和元年 秋の叙勲・褒章

11月3日、多年にわたり建設業に従事し、国土交通関係業務に精励するとともに、業界団体の役員として業界の発展に寄与した功績により受章されました。

旭日小綬章

川嶋 実氏
■㈱川嶋建設 代表取締役社長

旭日単光章

徳網 進氏
■㈱徳網建設 代表取締役

黄綬褒章

吉川 壽一氏
■㈱吉川組 代表取締役

令和元年度 顕彰・表彰

国土交通大臣顕彰（優秀施工者）

10月11日、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事し、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に大きく貢献した功績により表彰されました。

上石 勝義氏 ■イツワ通商㈱
藤原 伸也氏 ■㈱西山工務店
松原 勉氏 ■寄神建設㈱
松本 幸一郎氏 ■㈱オカモト・コンストラクション・システム

国土交通大臣表彰（建設統計調査）

10月23日、国土交通省建設統計調査において、多年にわたり積極的に協力したその功績が顕著であると認められ表彰されました。

㈱西村工務店
㈱新井組

兵庫県知事表彰（優秀施工者賞）

11月12日、建設現場において優れた技術を持って技術開発、施工の合理化等に貢献した建設技術者として表彰されました。

阿部 智氏	■㈱坂本建設
伊賀 保憲氏	■㈱吉田組
池田 佳志氏	■宮崎建設㈱
稲森 博哉氏	■前川建設㈱
岡田 雄介氏	■㈱谷工務店
鹿島 則彦氏	■㈱ノバック
北島 佳岳氏	■湊建設工業㈱
欅田 祐徹氏	■㈱香山組
佐藤 公俊氏	■㈱神崎組
白石 弘文氏	■寄神建設㈱
鈴木 永吾氏	■㈱村上工務店
髙田 博之氏	■溝口建設㈱
田中 弘則氏	■㈱扶桑興業
玉置 法正氏	■窪田工業㈱
寺川 真史氏	■㈱中川工務店
中野 暁久氏	■平錦建設㈱
中野 浩二氏	■㈱伊藤組
生尾 浩二氏	■㈱香山組
西村 誠氏	■㈱中川工務店
橋本 寛一氏	■㈱川嶋建設
東田 浩幸氏	■㈱オカモト・コンストラクション・システム
福田 安邦氏	■㈱神崎組
不動 博之氏	■㈱森長組
前川 直也氏	■㈱柄谷工務店
三谷 尚義氏	■㈱柄谷工務店
美濃谷 佳宏氏	■丸正建設㈱
森垣 裕也氏	■㈱金下工務店
山口 真一氏	■㈱池内工務店
善積 崇氏	■但南建設㈱

兵庫県知事表彰（若手優秀施工者賞）

11月12日、建設現場において優れた技術を持ち、また、将来その活躍が一層期待される若手建設技術者として表彰されました。

奥田 直樹氏	■株本建設工業㈱
川村 真吾氏	■丸正建設㈱
熊谷 慎也氏	■港建設㈱
小林 祐樹氏	■㈱西村工務店
齋藤 竜也氏	■㈱森長組
中司 康大氏	■㈱吉田組
南部 圭佑氏	■㈱池内工務店
三里 幹泰氏	■㈱NEO DAISEI
山本 広夢氏	■㈱神崎組

兵庫県知事表彰（技能顕功賞）

11月27日、技能者の模範として優れた技能で県内産業の発展に貢献した技能者として表彰されました。

林 賀津樹氏	■林左官工業所
藤原 鉄也氏	■㈱川嶋建設
水谷 展隆氏	■田代建装㈱

兵庫県知事表彰（さわやかな県土づくり賞）

11月12日、施工技術の向上と優れた公共施設の整備促進を図るため、県発注の建設工事のうち、特に優秀な工事として表彰されました。

■農政環境部

▼受賞企業名	▼本社(店)所在地	▼工事名
栄和興業㈱	南あわじ市	百軒堀地区第2工区工事
㈱岡井組	西脇市	加西市北条町東南予防治山事業(29Y第３号)
㈱正建設	太子町	苅屋地区排水路改修第４工区工事

■県土整備部

▼受賞企業名	▼本社(店)所在地	▼工事名
石井建材㈱	香美町	(砂)一二峠川砂防堰堤工事
㈱ウエダ建設	丹波市	(砂)長砂川砂防堰堤工事
㈱柄谷工務店	尼崎市	(一)高田久々知線交通安全歩道リニューアル工事(その6)
㈱小林工務店	養父市	(急)野村地区急傾斜地崩壊防止工事(その1)
進路工業㈱	市川町	(砂)杉之内中谷川砂防堰堤工事(東流域)
住徳建設㈱	姫路市	姫路港須加地区船場川(－5.5m)岸壁改修工事
全淡建設㈱	南あわじ市	(二)三原川水系孫太川孫太川排水機場進入路工事
タカヤマ土木道路㈱	尼崎市	(一)庄下川護岸補強工事(上流その1)
内藤建設㈱	西脇市	(砂)山寄上川砂防えん堤工事
㈱中川工務店	豊岡市	(主)豊岡瀬戸線道路冠水対策工事(その2)
中谷建材㈱	高砂市	東播磨港高砂地区護岸補強工事(その3)
㈱中村建設	香美町	(一)鎧停車場線道路災害復旧工事
㈱正光	姫路市	県立加古川南高等学校第１期長寿命化改修建築工事
美樹・伊丹・谷井特別共同企業体 美樹工業㈱	姫路市	県立柏原・柏原赤十字統合新病院(仮称)外衛生設備工事
㈱森津工務店	丹波市	(急)大名草(4)地区急傾斜地崩壊対策工事(区域 A、C)
立・進藤特別共同企業体 立建設㈱ ㈱進藤組	姫路市 たつの市	県営姫路御着住宅第２期建築工事

(独)勤労者退職金共済機構理事長表彰（建設業退職金共済制度普及協力）

10月18日、建設業退職金共済制度の普及活動と加入拡大、また共済契約の適正な履行の確保の推進に尽力し、建設産業の発展と建設労働者の福祉の推進に寄与した功績により表彰されました。

㈱中川工務店	播磨土建工業㈱	㈱西山工務店

兵庫県建設業協会

「創立100周年記念式典・祝賀会」を開催

協会を代表し、川嶋会長が井戸知事から感謝状を受け取りました。

川嶋会長と来賓の皆さんによる鏡開きで会場は盛り上がりました。

前身の兵庫県土木建築請負業組合が大正8年4月16日に創立されてちょうど100年の節目に当たることから、10月23日、「創立100周年記念式典・祝賀会」をANAクラウンプラザホテル神戸で開催しました。記念式典は岡榮治副会長の開式の言葉で始まり、全員で台風第19号をはじめ多くの災害で犠牲になられた方々と協会発展に尽力してきた先人たちに対して黙とうをささげました。川嶋実会長の式辞に続き、井戸敏三知事、油井洋明神戸市副市長、佐藤信秋参議院議員、足立敏之参議院議員から祝辞をいただきました。

その後、兵庫県から協会へ知事表彰が贈られ、井戸知事から川嶋会長へ兵庫県知事表彰状が手渡されました。また、井戸知事から協会役員として長年の運営に努めた柏原幸生氏、江見治氏、上原精農氏に兵庫県知事感謝状が、創設時からの会員である㈱神崎組に川嶋会長から全国建設業協会会長感謝状が贈られたほか、協会の会員および役員157人に対して当協会会長感謝状が、協会事務局の永年勤続職員2人に対して表彰状が贈られました。

続いて催された祝賀会はジャズの生演奏で幕を開け、増田和仁副会長の開宴の言葉に続き、川嶋会長のあいさつ、祝賀会から出席の赤羽一嘉国土交通大臣と、尾野俊二神戸商工会議所副会頭のお祝いのことばの後、井戸知事の乾杯の発声により祝宴がスタート。総勢375人の出席者たちは和やかに歓談し、最後は松田隆副会長が閉宴の言葉で締めくくりました。

式 辞

川嶋 実
兵庫県建設業協会会長

当協会は前身の兵庫県土木建築請負業組合の結成以来、県内唯一の総合建設工事業者の団体として幾多の変遷を経て、このたび100周年の大きな節目を迎えることになりました。関係機関の皆さま方から今日までに賜ったご指導ご支援にあらためて深く感謝申し上げます。地域が頼れる存在として期待に応え、地域社会に貢献する法人として役割を果たせるよう会員一同、一致団結し心を新たに努力していきます。

お祝いのことば

赤羽 一嘉
国土交通大臣

100年にわたり兵庫県各地の発展基盤の整備、安全安心の確保に多大なる尽力をいただき、心から感謝申し上げます。国交省では「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として総額7兆円規模の取り組みを行っているところですが、その先も中長期計画で防災・減災の強靱化対策を取れるよう全力を尽くしていくことを約束します。また、建設業界の働く環境の改善にもしっかりと努めていきます。

祝 辞

井戸 敏三
兵庫県知事

100年の歩みの中で建設分野を通じ、兵庫県の発展を支えていただいたことに県民を代表して心から感謝申し上げます。新しい時代に対応する共通の情報や技術革新の基であり、業界のまとめ役でもある建設業協会にしっかりとした歩みを続けていただくことが、兵庫県の建設業発展につながる基本だと思っています。これからの100年を目指して着実な足取りを続けられていくことを心から祈念しています。

油井 洋明
神戸市副市長

協会・会員企業の皆さまの社会基盤整備によって市民の安全安心を維持できていることに感謝申し上げます。とりわけ、災害が起こった際の迅速・的確な協力体制を心強く思っています。市では今後、神戸が輝けるまちになるために「リノベーション・神戸」としてさまざまな施策を進めていこうと考えています。こういった事業を展開していく上でも、引き続きご理解ご支援を賜りたいと思っています。

佐藤 信秋
参議院議員

伝統ある兵庫県建設業協会の歴史を振り返ると、明治時代の六甲砂防に始まり、大変な災害が続く昨今まで、皆さんには大変な災害を克服していただき心から感謝申し上げます。3カ月前の選挙時に、新しい3K（給料がいい、休日が取れる、希望や夢が持てる）の産業や職場に兵庫からしていくことを約束しました。100周年を契機にこれを一層推し進めていきましょう。私も一緒に頑張っていきたいと思います。

足立 敏之
参議院議員

この100年は災害との闘いだったと言えると思います。逆に言うと、兵庫県が災害のたびに立ち直ってこられたのも、建設業の皆さま方がいらっしゃったからです。これからのことを考えると、各地に建設予定の道路をはじめ、未来を支えるための数々のインフラ整備にぜひとも切磋琢磨し、支援いただければありがたいです。協会のますますの発展に、私としてもできるだけの取り組みをしていくことを約束します。

兵庫県建設業協会
「女子高校生と女性技術者との交流セミナー」を開催

女性の建設業への入職を促進するため、8月2日、神戸市中央区のラッセホールで「女子高校生と女性技術者との交流セミナー」を初めて開催しました。県内の3校の工業高校に通う24人が参加。最初に（一社）土木技術者女性の会副会長の牛山育子さんが「働きやすい環境づくりに向けて」と題して基調講演を行いました。

第2部では、牛山さんがコーディネーターとなり、建設業で活躍中の女性技術者5人がパネルディスカッションを展開。自身の経験を踏まえながら建設業の魅力や関わった仕事などについて説明しました。その後、第3部の意見交換会では、登壇者と同じテーブルでコーヒーやケーキを囲んだ女子高生たちは、予定の時間を延長するほど熱心に建設業の現状や仕事のことなどについて質問し、さまざまなアドバイスを受けていました。

和やかな雰囲気の中、質問が飛び交った第3部の意見交換会

パネルディスカッション

【コーディネーター】
（一社）土木技術者女性の会副会長
大阪府茨木土木事務所
牛山 育子さん

建物が好きでビルを造りたいと思い大学の住居学科に進学したものの、造る側ではなく住まう側を考える学科だったため1年で中退。大学を受け直して工学部の土木工学科に入り、学科始まって以来の女子学生第1号として学びました。当時、民間では女性の総合職の採用がなかったので、卒業後は大阪府に土木職として入庁しました。これまでで印象的な仕事は、うめきた2期地区の開発事業の一端を担ったことです。また、若い頃にバイパス工事を担当し、完成後、事務所の管内図に新しく造った800㍍分の線を入れた時に「私の道路だ」と思ったのを覚えています。このような経験ができるのは建設業ならではだと思います。

【パネリスト】
（一社）土木技術者女性の会
大成建設㈱
後田 真里さん

中学生の時に災害の写真を目にして以来、建設業に興味がありました。普通科高校を卒業後、大学、大学院で土木を専攻し、規模の大きな現場に出たかったのでゼネコンの大成建設に就職して8年目になります。今の現場は箕面市発注の北大阪急行線延伸に伴う高架工事です。土木というとよく山奥というイメージを持たれるのですが、電車の駅などの都市土木をずっと担当しているので、現場までは電車で行って、電車で帰っています。これからの建設業界は、日本だけにとどまりません。学生時代は苦手だった英語から逃げていましたが、しゃべれるようにもっと勉強していればよかったなと思っています。

【パネリスト】
（一社）土木技術者女性の会
㈱IHIインフラシステム
原 菜摘さん

橋梁メーカーのIHIインフラシステムで、コンクリートではなく金属の橋の設計の仕事をしており、今は大阪府と兵庫県での橋梁工事を担当しています。高校の授業で発展途上国について習った時にアフリカや東南アジアが発展するには工業が発展することが一番大事だと知り、橋や道路が通ることで現地の人々が救われるのではと考え、大学では土木工学を専攻しました。自分の設計した橋が工場で造られ、現場で組み立てられた状態になるまでをようやく実現できたところで、大きなものを造ることの魅力を実感しています。

【パネリスト】
㈱川嶋建設
田中 佳世子さん

豊岡市にある川嶋建設の1級建築士事務所で13年間働いています。現在の仕事内容は、主に住宅などの木造建築物の設計と管理です。6歳と8歳の2人の子どもがおり、それぞれ1年間の育休を経て、復帰しました。働くきっかけは、建設業界で働いていた父の影響と、自分の部屋をもらった時にインテリアに興味を持ったことです。専門学校で建築の基礎から教わり、卒業後に今の会社に就職。建設業の魅力は、自分の考えていることが少しずつ形になり、完成した時にはお客さまに喜んでもらえることです。皆さんにはどのような仕事がしたいかを考え、それに向かって頑張っていってほしいです。

【パネリスト】
㈱柄谷工務店
松田 夏実さん

尼崎にあるゼネコンの柄谷工務店の設計部に所属し、6年目になります。今までに手掛けたのは、工場や事務所、倉庫など。お寺にエレベーターをつけたり、幼稚園や保育所のトイレを改修したりといったこともしています。建設業の魅力は、いろいろな職種の方がそれぞれの得意分野を生かし、みんなで一つのものを造り上げていく点にあります。各分野のエキスパートから話を聞くのはすごく楽しく、造るときのワクワク感や、自分が考えたものが形になることの喜びなどに出合えるのも魅力です。建築を専攻した大学、大学院の6年間でそのような瞬間をたくさん経験し、もっとやりたいと思って今の仕事に就きました。

【パネリスト】
㈱松田組
清水 冴香さん

建設業で働こうと思った理由は、ものづくりが好きだからです。大学では主に設計を学んでいたのですが、現場で物ができていくのを見ていたいという思いが強くなり、公共工事をメインにしている松田組に入社。今は市営住宅や学校の新築・改修工事などの施工管理、いわゆる現場監督をしています。建設業は、多くの業種の人々によって建物ができていく過程がすごく楽しいことと、関わっている人みんなが「建物を造る」という同じ目標を持って現場に居るということにとても魅力を感じています。たくさんの人が関わって建物が出来上がり、それが地図に残るというのは大きなことだと思います。

（左から）
清水さん、原さん、
田中さん、牛山さん、
松田さん、後田さん

女子高生からの質問

Q 学生のうちに取っておいた方がいい資格はありますか。

●大学の時に取得した測量士補と技術士補は取った方がいいと思います。（原さん）

●自動車の運転免許ですね。現場や役所に車で行くことが結構多いので。専門の資格は実務経験が必要になりますが、年数を重ねると仕事で忙しくなって勉強に割ける時間が少なくなってくるので、若手のうちに取っておいた方がいいです。（松田さん）

●実際に必要な資格は、入社後、現場での経験年数が受験要件のものが多いです。施工管理技士は不可欠で、他にも足場を組み立てる時に必要なものなど、現場に関わるさまざまな資格を取るようにしているところです。（清水さん）

Q 現場で仕事するに当たって大変なことはありませんか。

●女性が本当に少ない時代に一番困ったのは、現場にトイレがないこと。現場から帰るときに、車の運転者に「どこでもいいからトイレに寄ってください」とよくお願いしました。今はほとんどの現場に女性用のトイレがあるので、そこまで困らないとは思いますが。（牛山さん）

●雨で足が濡れて長靴の替えがほしいとき、女性用サイズが少なくて濡れたまま作業することがあります。女性用も増えていますが、まだ至る所に置いてあるという状況ではないので。（後田さん）

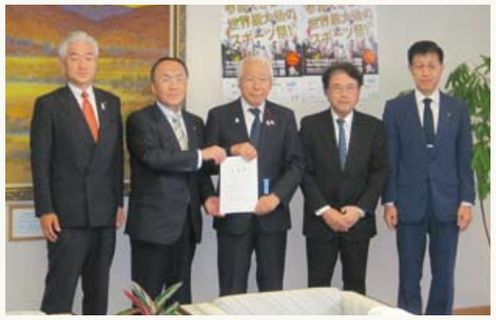
●一番困っているのは子どもが不意に熱を出したり、朝、突然ぐずったりして会社に遅刻したりすること。仕事はなるべく期限の1日前までには仕上げ、何かがあった場合にも対応できるようにしています。（田中さん）

兵庫県知事への要望と意見交換を実施

10月25日、県庁において、井戸知事に要望書を提出するとともに、意見交換を行いました。

要望項目

①社会資本整備の計画的な推進と公共事業費等投資的予算の確保・拡大
②品確法に基づく建設産業行政の推進
③地元中小・中堅建設企業の受注機会の確保
④建設産業における担い手の確保・育成



兵庫県県土整備部との意見交換会を開催

7月23日、県職員会館において、厳しい経営環境下にある当協会会員企業が引き続き地域の社会資本整備の担い手として活躍できるよう、諸課題の解決に向けて、廣田県土企画局長、服部土木局長、西谷住宅建築局長等と意見交換を行いました。

意見交換項目

①営繕工事における地域の実状に合った予定価格の設定
②適正な工期の設定及び施工時期等の平準化
③工期設定
④配置技術者の専任期間の緩和措置
⑤土木請負工事成績評定
⑥生コンクリートの配合単価の受注後の変更
⑦特記仕様書記載事項の差異

9月13日、県職員会館において、濱県土整備部長に要望書を提出するとともに、同部長、出野上まちづくり部長、廣田県土企画局長、服部土木局長、西谷住宅建築局長等と意見交換を行いました。

要望項目

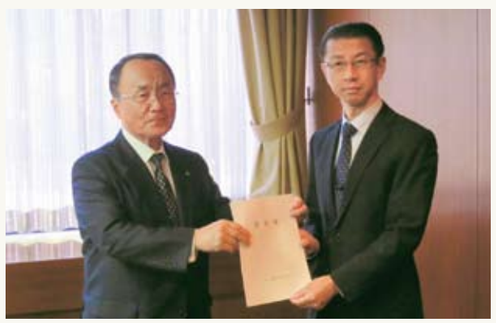
①社会資本整備の計画的な推進と公共事業費等投資的予算の確保・拡大
②品確法に基づく建設産業行政の推進
③地元中小・中堅建設企業の受注機会の確保
④入札契約方式の改善
⑤設計・積算、受発注、施工、完成後の諸課題
⑥建設産業における担い手の確保・育成

近畿地方整備局との意見交換会を開催

10月9日、県職員会館において、橋本企画部長に提案書を提出するとともに、同部長、宮川技術調整管理官、増田技術開発調整官等と意見交換を行いました。

提案項目

①社会資本整備の着実な推進と災害に強い国土づくり
②品確法に基づく建設産業行政の推進
③入札契約方式の改善
④設計・積算、受発注、施工、完成後の諸課題
⑤建設産業における担い手の確保・育成



兵庫県議会自由民主党議員団との「政策要望に係る意見交換会」を開催

9月20日、県庁において、令和2年度予算編成に向けて次の事項を要望し、意見交換を行いました。

要望項目

①社会資本整備の計画的な推進と公共事業費等投資的予算の確保・拡大
②地域を支える建設業の経営基盤の強化と健全な発展

「公明党政策要望懇談会」を開催

9月10日、県教育会館ラッセホールにおいて、令和2年度予算編成に向けて次の事項を要望し、意見交換を行いました。

要望項目

①大規模災害等に備えた強靭な国土づくり、公共事業予算の確保・拡大
②入札契約制度の改善、施工時期の平準化、予定価格の適正な設定、適正な工期設定等
③働き方改革の推進

「近畿ブロック地域懇談会・近畿ブロック会議」に出席

10月21日、ホテルグランヴィア大阪において、「近畿ブロック地域懇談会」が開催され、国土交通省から林大臣官房建設流通政策審議官、東川大臣官房技術審議官ほか関係課室長、同省近畿地方整備局から井上局長ほか幹部職員、(一社)全国建設業協会から近藤会長ほか幹部職員、当協会を含む近畿ブロックの各建設業協会会長・専務理事が出席し、意見交換が行われました。

意見交換項目

■国土交通省の提案議題「『新・担い手3法』を受けた取組の着実な推進と中長期的な担い手の確保・育成」
①改正品確法をはじめ、「新・担い手3法」を踏まえた取組の推進
②i-Construction「貫徹」に向けた生産性向上の取組等
③建設キャリアアップシステムの普及等

■全国建設業協会の提案議題「地域の防災と活力を担う魅力ある地域建設業を目指して」
①経営の安定化
②災害対応等
③担い手確保(働き方改革、生産性向上)他

引き続き、近畿ブロックの各建設業協会副会長等を加えて「近畿ブロック会議」が開催され、次の提案議題について意見交換が行われました。

提案議題

①公共事業予算の安定的・持続的な確保と国土強靭化予算の継続
②地元建設企業への受注機会の確保・拡大
③働き方改革における担い手確保とi-Construction
④新担い手3法の推進
⑤設計・積算及び施工
⑥災害協定

■ 建設産業団体連合会 ■ 兵庫県県土整備部との意見交換会を開催

11月14日、兵庫県建設産業団体連合会が県民会館において、廣田県土企画局長に要望書を提出するとともに、同局長等と意見交換を行いました。

要望項目

①社会資本整備の計画的な推進と公共事業費等投資的予算の確保・拡大
②建設生産システムの高度化
③「働き方改革」の推進と若手就労者の入職促進への取組
④県内業者(会員)の入札参加機会の確保等による安定的経営基盤の確立
⑤コンクリート二次製品における県内産品使用の強化

支部だより

■ 尼崎支部CSR活動 ■
「武庫川髭の渡しコスモス園」での協会100周年花文字の作成

8月24日、兵庫県建設業協会創立100周年を記念して武庫川河川敷の「武庫川髭の渡しコスモス園」に、満開時に「100」の文字が浮き上がるようコスモスの花の色を変えて種をまきました。開花時（10月19日～11月30日開園）には花見用に高台を設置し、多くの市民の皆さんに見ていただきました。

■ 西宮支部CSR活動 ■
「第44回にしのみや市民祭り」でのブース出展

当協会のPRと建設業界のイメージアップを図るため、10月26日に西宮市役所周辺で開かれた「第44回にしのみや市民祭り」にブースを出展し、災害時の建設業界の役割と活動、福祉施設への慰問、子ども110番パトロール事業などを写真パネルで紹介。また、子どもたちに建設業への興味を持ってもらうため、建設機械ミニユンボへの試乗や写真撮影、マイクロショベルでのお菓子のすくい取りなどを行い、約2,000人が来場しました。

■ 豊岡支部CSR活動 ■
「但馬まるごと感動市」でのブース出展

建設業の魅力アップ活動の一環として11月9日、10日の2日間、但馬ドームでの「但馬まるごと感動市」に建設業の事業紹介パネルの展示や関連パンフレットの配布を行うブースを出展しました。また、子どもたちに建設業への興味を持ってもらうため、おもちゃの重機によるスーパーボールすくいや本物のミニバックホーへの試乗や記念撮影等を行い、ブースには、約500人が来場しました。

■ 令和元年度インターンシップ ■

第14回東部地域建設サマーセミナー

6日間にわたり高校生たちが現場で実習

毎年夏季休業期間中に当協会が主催しているインターンシップ「東部地域建設サマーセミナー」。8月21日から6日間の日程で開催した今回は、3つの高校から12人と高校生のみの参加となりましたが、尼崎市立琴ノ浦高校からは理科と体育科の先生も実習生たちと同じメニューをこなし、建設業界を知ってもらういい機会となりました。

初日の開講式では、当協会の柄谷尼崎支部長、林伊丹支部長、松田西宮支部長に続き、受け入れ企業の柄谷・宮崎・トータル共同企業体の各社から皿海統括所長、宮崎代表取締役社長、村上社長執行役員があいさつ。また、県立尼崎工業高校の矢部校長、市立琴ノ浦高校の吉野校長からの言葉の後、実習生を紹介し、市立琴ノ浦高校の諸山さんが決意表明をしました。

式が終わると、実習生たちは事故や熱中症等に関する安全教育や実習現場に入るための新規入構者教育を受け、午後から早速実習がスタート。3班に分かれ、左官工事や塗装工事、測量などの実習のほか、解体現場やショールームなどを見学・体験しました。

28日の閉講式では、当協会の柄谷尼崎支部長に続き、県立武庫荘総合高校の池信教頭、市立琴ノ浦高校の永本教頭があいさつ。皿海統括所長による実習報告の後、当協会の松田副会長から実習生代表の県立尼崎工業高校の作山さんに修了証書が授与され、実習生を代表して県立武庫荘総合高校の水野さんがお礼の言葉を述べました。最後に市立琴ノ浦高校機械系列長の丸本先生から講評があり、全てのプログラムを終了しました。

日程

8月21日～28日（24日、25日を除く6日間）

実習現場

市営武庫3住宅第2期(宮ノ北住宅)建替事業（尼崎市）

参加者

12人（尼崎市立琴ノ浦高校8人、県立尼崎工業高校2人、県立武庫荘総合高校2人）

	午前	午後
8月21日	開講式	班別実習（左官、塗装、防水）
8月22日	班別実習（仮設足場、左官、塗装）	班別実習（左官、塗装、防水）
8月23日	班別実習（給水配管、仮設足場）	見学実習（宮ノ北現場）
8月26日	班別実習（測量実習）	班別実習（測量実習）
8月27日	見学実習（デンマークハウス）	見学実習（コベルコ教習所）
8月28日	班別実習（防水、給水配管）	閉講式

参加実習生の感想

県立武庫荘総合高校総合学科3年
M.S さん

6日間、色々な建築の仕事を体験して、現場での仕事の大変さや達成感を感じることができた。私は元々設計の仕事に興味を持ち、今回のサマーセミナーに参加したが、この6日間で現場の仕事を体験して、建てる物の設計図を考えるのではなく、実際に建物を建てる職業に興味が湧いた。

一番興味深かったのは、建築施工管理の職業である。一見、事務作業ばかりの仕事にも思えるが、早朝から現場の測量をするなど、現場に立って色々な仕事をこなすこともある職業だった。何種類もの仕事をこなす施工管理の仕事は、オールマイティーに多くの仕事を知ることができる上に色々な人と関わることができるという点で、非常に興味深い職業だと思った。

そのため今後、建設関係の職業に就くことを目標とする上で、今まで目標としていた設計だけでなく、今回興味を持った施工業者の職業についても自分なりに調べるなどして、将来に向けて努力していきたい。そのような意味で、私がサマーセミナーに参加したという経験はただの想い出にとどまることなく、自分の考え方を変えてくれるような貴重な経験になったと思う。私がこのサマーセミナーで活動する上で、その支援をして下さった方々に感謝しています。ありがとうございました。

県立尼崎工業高校建築科1年
S.M さん

建設サマーセミナーに参加して、行く前の想像とは違い、行く前は、指導者さんと職人さんは怖いイメージがあり、少し行くのが怖いなと思っていました。

しかし、現場に行ってみれば指導者さん、職人さんがとても優しく丁寧に指導してくださり質問も聞けたり分かりやすかったです。建築の現場はとても雰囲気が良く、協力的でとてもいい現場だなと感じたし、見方も変わりました。一つの物を沢山の人で作り上げて行く事にすごく感動しました。

サマーセミナーに参加して、建築の技術など目で見て体験出来てすごくいい体験が出来たと思いました。私も建築を学んでいるので、将来建築の仕事をしたいので、今回の経験を活かして行きたいと思います。

左官工事

塗装工事

防水（シーリング工事）

給水配管実習

仮設足場工事

測量実習

コベルコ教習所での見学・体験

デンマークハウスの見学

■ 令和元年度インターンシップ ■

第22回西部地域建設サマーセミナー

4つの現場でさまざまな業種を体験

8月19日から7日間にわたって「第22回西部地域建設サマーセミナー」を開催し、地域の高校・専門学校から37人が参加しました。開講式では、当協会の増田副会長、関本顧問による主催者あいさつ、兵庫県東播磨県民局の伊藤局長の来賓あいさつに続き、受け入れ企業である前川建設㈱の前川社長、大形建築現場所長、参加校の県立東播工業高校の楠校長、日本工科大学校の中農理事長、相生学院高校の内藤講師が実習生を激励。日本工科大学校環境建設工学科１年生の林奏太さんが実習生を代表して決意表明をしました。

開講式終了後は、前川建設㈱の吉田安全管理者から安全教育を、日本工科大学校の高原先生から現場実習のガイダンスを受け、実習がスタート。建設現場で多くの業種体験を通じて専門知識を吸収しものづくりの魅力を学んでほしいとの思いから、本年度は４現場での実習体験となり、実習生たちは４班に分かれて活動しました。また、22日は岡山県倉敷市で新建材・CLT（直交集成板）の展示場と製鉄工場を見学しました。

26日の閉講式では、当協会加印支部の新井支部長のあいさつの後、前川建設㈱の前川社長と県立東播工業高校の富田建築科長が実習生たちを激励し、大形現場所長が実習報告をしました。その後、東播磨県民局の伊藤局長が「誇りと夢のある仕事（建築・土木）」と題して講演。最後に、当協会姫路支部の三木支部長から実習生に修了証書が授与され、県立東播工業高校建築科２年生の江田玲司さんがお礼を述べました。

倉敷CLT展示場の見学

日程

8月19日～26日（25日を除く7日間）

実習現場

加古川産業会館「JA兵庫南ビル」新築工事
アルファステイツ加古川駅南新築工事
日岡山学校給食センター整備事業
リベール明石西新町新築工事

参加者

37人（県立東播工業高校5人、相生学院高校1人、日本工科大学校29人、創智国際学院2人）

	午前	午後
8月19日	▶ 開講式	▶ 現場実習（日岡山学校給食センター整備事業現場）
8月20日	▶ 現場実習（リベール明石西新町新築工事現場）…………▶	
8月21日	▶ 現場実習（アルファステイツ加古川駅南新築工事現場）…………▶	
8月22日	▶ 見学会（かばやホーム倉敷CLT店倉敷CLT展示場）	▶ 見学会（JFEスチール㈱西日本製鉄所（倉敷地区））
8月23日	▶ 現場実習（加古川産業会館「JA兵庫南ビル」新築工事現場）…………▶	
8月24日	▶ 現場実習（加古川産業会館「JA兵庫南ビル」新築工事現場）…………▶	
8月26日	▶ 現場実習（加古川産業会館「JA兵庫南ビル」新築工事現場）	▶ 閉講式

給食センター整備事業の現場見学

圧接

鉄筋工事

参加実習生の感想

県立東播工業高校　O.K さん

インターンシップの初日は日岡山学校給食センターで杭打ち作業を見せていただきました。大きな炉のようなミキサーでコンクリートを練っている作業を見て学校の授業でやったコンクリートを打つ作業は本当に実験のような物なんだなあとスケールの大きさを感じました。

２日目はリベール明石西新町というマンションで鉄筋をくくる作業と左官の体験をさせていただきました。鉄筋をくくっていく作業をして暑い中でも頑張って働く人がいるからマンションやビルが建つことがわかりました。どちらの作業も職人の方はとてもスムーズにやっていたので、経験の大切さがわかりました。

３日目はアルファステイツ加古川駅南で圧接工事と設備工事の体験をさせていただきました。圧接工事はもともとつながった鉄筋を使って工事をしていくと思っていたので、自分達で鉄筋を接合していくという事を知れて良かったです。設備工事はプラモデル作りみたいで楽しかったです。

４日目は岡山のモデルハウスと製鉄工場に行かせていただきました。CLTという板や鉄板について様々なことがわかりました。

５日目は左官工事と電気工事の体験をしました。左官の工事も電気の工事も見えないところですが、しっかり作っていくことの大切さがわかりました。

６日目は軽鉄作業と最近の測量について教えてもらいました。時代が進むにつれてどんどん技術が進歩してきていることがわかりました。

７日目は測量の体験をしました。久しぶりにした作業なのでやり方が思い出せて良かったです。

７日間を通して学校ではできないような体験ができてすごく身になる体験ができて良かったです。

日本工科大学校　M.R さん

今回インターンシップに参加させてもらって、ふだん知ることができない事や、感じることのできない苦労をたくさん経験できました。１日目には建設中の現場を見学させていただき、土木や施工管理でよく教科書では見ていた杭工事を見れてうれしかったです。想像の中では建物１階ぐらいの高さだと思っていましたが、実際は２階分ぐらいあったのでおどろきました。それに１本埋め立ておわるまでに思ったよりかかることが知れてよかったです。

２日目以降は鉄筋、設備、圧接、電気、左官、軽鉄、測量を実際に自らの手で関わったり経験ができて、本当によかったです。鉄筋などとくにインターンを受けないままでいたら苦労を知らずに社会にでるところでした。この一週間は特に天候にめぐまれていたので実際の現場では何倍もしんどいだろうなと感じました。それにあれほど高い作業も初めてしたので学校で何かをするよりきんちょう感がとてつもなく感じられました。けどまだかじる程度しかしていないのですが、どの作業も楽しく感じながらさせていただきました。

僕の中では１週間で１番楽しかったのは電気と設備の作業でした。電気では自分の家などにある階段の電気のしくみを知れたこと、設備では自分たちがよくつかっていたのに詳しく見たことがない内容を知ってこれだけの苦労の中、ビルやホテルでは何十、何百もつくりつづけていることのすごさを知れました。僕は設計の方が興味があってあまりふかく知ろうと施工のことを調べていなかったのですが、そのようなことも自分がやってみないとわからないことだらけだったので自分でたくさん自主的に調べようと思いました。

左官工事

設備工事

測量実習

わがまち自慢 SHOP & SPOT

会員イチオシの店・スポットを紹介します。▶今回は 姫路支部

㈱目木組代表取締役
目木敏彦さんのおすすめ
▼
播州赤穂坂越 くいどうらく

週末は長い行列ができる人気店です

▲坂越御膳 3,000円(税別)

いまやブランドがきとして定着した「赤穂坂越のかき」。坂越漁港のかき加工場に隣接する「くいどうらく」では、11月から3月にかけてのシーズン中、炭火焼きテーブルでの焼きがきの食べ放題をはじめ、かき尽くしの料理を堪能できます。行列ができる人気店ですが予約はできないので、早めにお出掛けください。

赤穂市坂越290-16 TEL.0791-46-8800
営業時間／◎11月～3月:11時～15時30分(水曜のみ14時30分まで) ◎4月～10月:11時～14時
定休日／火曜、水曜 https://www.kuidouraku.com/

㈱ホリエ代表取締役
堀江一雄さんのおすすめ
▼
寿司割烹 旬 はなれ重絆

季節ごとの播磨のうまいもんが満載！

▲店主の思いが詰まったコース 4,000円(税別)

友人の薦めで妻との記念日に訪れたのがこのお店との出合いでした。「手頃な価格でぜいたくな雰囲気と食事を楽しんでほしい」。そんな店主の思いが詰まった、隠れ家空間です。店主の人柄も良く、心地いい時間を過ごせます。姫路に来られたら、ぜひお立ち寄りください。

姫路市西二階町107 TEL.079-280-4464
営業時間／11時～14時、17時～22時
定休日／月曜 https://juban.owst.jp/

㈱片岡建設取締役
片岡勇輝さんのおすすめ
▼
古民家レストラン いろり 勢賀の郷 (せかのさと)

五感で楽しむインスタ映え間違いなしのレストラン！

▲ぼたん鍋 3,800円(税別)

市川町ののどかな田園風景の中で、ひときわ目を引く古民家レストラン。梁や柱など当時の面影を残しながら築130年の民家をリノベーションした建物で、四季折々の表情を見せる庭園も。来る人を五感で魅了します。また、こだわりの米、地鶏、手作りゆずみそなど、他では味わえない素材を生かした逸品料理が楽しめます。

市川町下瀬加1027 TEL.0790-24-8456
営業時間／◎木曜・日曜11時～15時
◎金曜・土曜11時～15時、18時～21時
定休日／月曜～水曜

㈱平野組総務部
有馬美佳さんのおすすめ
▼
甘音屋 (あまねや)

素材本来のおいしさを生かした和菓子屋さん

▲みかん大福 味感 300円(税別)

のれんをくぐって店内に入ると、魅力いっぱいの和菓子たちが並んでいます。中でもお薦めは、季節の果物を使った大福。「みかん大福 味感(みかん)」は食べた瞬間、あふれ出るみずみずしい果汁と、真っ白でふわふわの甘いお餅が相まって最高においしいんです！数々のメディアにも取り上げられているお店をぜひ訪れてみては。

姫路市広畑区蒲田5-200 TEL.079-239-1220
営業時間／10時～18時
定休日／なし

協同建設㈱代表取締役
増田和仁さんのおすすめ
▼
とろゝ料理 倭風酔 (わふうすい)

ほっこりくつろげるとろろ料理の専門店です

▲風(とろろそば御膳) 2,000円(税別)

灘のけんか祭りで知られる白浜町中村の屋台蔵の隣にある、とろろ料理の専門店です。和風の落ち着いた店構えで、お店の方も親切なので、ほっこりとくつろぐことができます。コース料理だけでなく単品のメニューもあり、一人用のお釜で炊き立てのご飯が運ばれ、いろいろなとろろの料理が楽しめます。

姫路市白浜町乙470-3 TEL.079-246-1944
営業時間／11時30分～14時30分、17時30分～22時
定休日／月曜

㈱神名工務店代表取締役
神名大典さんのおすすめ
▼
酒蔵通り

古い建物は今も現役趣のある町並みです

SPOT

宍粟市山崎町山崎地区
(国道29号の宍粟市役所前「中広瀬北交差点」から西へ約1km)

江戸期の酒蔵が3軒並び、山崎地区の活性化拠点に位置付けられているのが「酒蔵通り」です。兵庫県指定の景観形成重要建造物が立ち並ぶ通りには、古民家を生かした町家ホテル2軒と町家カフェ、酒蔵レストランも営業しています。ぜひ一度お越しください。